

研究主題

教員研修の評価に関する研究

(第1年次)

《抄 録》

東京都は、人事考課制度と連動した研修体系の構築と、キャリアプランの導入を決定し、15年度から10年経験者研修をはじめとする新しい研修体系での研修を実施する。

本研究は、新しい研修体系のもとに行われる人事考課と連動した研修の効果的な実施に寄与することを目的に、次の2点をねらいとして実施した。

教員の資質・能力についての基本的な考え方を明らかにする。

教員の資質・能力に関する評価基準を明らかにする。

教員の資質・能力のとらえ方は人によりさまざまであることから、共通の理論的枠組みで教員の資質・能力やその研修について評価を行うことが課題になる。本研究は、教員の資質・能力を「資質・能力の種類」「資質・能力が発揮される場面」の二次元でとらえ、次のような下位項目を設定して評価基準表を作成した。

資質・能力の種類（「能力」と「情意」の二つに分けてとらえた。）

「能力」...「知識・理解・技能」「分析」「統合」「実施・対応」「評価」

「情意」...「感受性」「価値づけ」「自覚」

資質・能力が発揮される場面

...「学習指導」「生活指導・進路指導」「特別活動・その他」「学校運営」

次に、このようにして作成した評価基準に基づいて、アンケート調査を実施し、その結果から、この評価基準は、教員の資質・能力の実態を明らかにする上で、おおむね有効であることを把握した。

さらに、この評価基準に基づいて「授業分析表」を作成し、実際の授業観察に試用して評価基準の有用性を確認するとともに、授業観察を通して教員が自らの研修課題を発見するための考え方や進め方を提案した。